

特別勘定マンスリーレポート

スイス年金

新変額個人年金保険(無配当)

ユニット・プライスの推移



※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

参考 主な投資対象の投資信託の運用状況(出所:クレディ・スイス投信株式会社)

クレディ・スイス世界バランス・ファンド(適格機関投資家専用)

■ 基準価額の騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年
クレディ・スイス世界 バランス・ファンド	▲3.44%	3.23%	▲10.34%	▲13.96%	16.29%

■ 通貨別構成比

	ファンド	複合指数 (参考データ)
米ドル圏	35.41%	37.34%
ユーロ圏	31.90%	31.43%
イギリスポンド	7.61%	8.04%
豪ドル(含NZD)	2.77%	1.82%
スイス・フラン	1.99%	1.96%
日本円	20.32%	19.41%
合計	100.0%	100.0%

* 複合指数はMSCI Worldインデックスの50%、シティグループ世界国債インデックスの50%を加重平均した指数

■ 上位10銘柄

(総組入れ銘柄数 360)

株式	国名	業種	投資比率
SCHLUMBERGER LTD	アメリカ	エネルギー	1.58%
MONSANTO CO	アメリカ	素材	1.14%
CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	1.11%
CVS CAREMARK CORP	アメリカ	生活必需品	1.07%
ABB LTD	スイス	資本財・サービス	0.94%
MAN AG	ドイツ	資本財・サービス	0.78%
SIEMENS AG REG	ドイツ	資本財・サービス	0.76%
ANGLO AMERICAN PLC	イギリス	素材	0.74%
BG GROUP PLC	イギリス	エネルギー	0.74%
BANK OF NEW YORK MELLON CORP	アメリカ	金融	0.72%
合計			9.59%

債券	クーポン	償還日	投資比率
ドイツ国債	4.250	2014/07/04	1.75%
ドイツ国債	4.000	2037/01/04	1.75%
イギリス国債	5.000	2025/03/07	1.61%
フランス国債	3.500	2011/07/12	1.25%
フランス国債	5.000	2016/10/25	1.25%
第63回利付国債(5年)	1.200	2012/03/20	1.13%
ドイツ国債	5.000	2012/01/04	1.12%
ドイツ国債	3.500	2009/10/09	1.11%
第260回利付国債(2年)	0.900	2009/09/15	1.07%
フランス国債	3.500	2015/04/25	1.03%
合計			13.07%

特別勘定の名称

グローバルマーケット型

主な運用対象
の投資信託クレディ・スイス世界バランス・ファンド
(適格機関投資家専用)投資信託の
運用会社

クレディ・スイス投信株式会社

ユニット・プライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
-3.51%	2.91%	-10.81%	-14.90%	11.86%	20.32%

特別勘定資産内訳

	構成比(%)
現預金	0.5%
投資	99.5%
合計	100.0%

■ 資産別構成比

	ファンド	複合指数 (参考データ)	ベット
株式	52.02%	50.00%	2.02%
北米地域	26.45%	25.81%	0.64%
欧州(除く英国)	13.74%	11.46%	2.28%
英国	3.51%	5.19%	-1.69%
日本	5.03%	5.07%	-0.04%
香港・シンガポール	1.87%	0.81%	1.06%
豪州・ニュージーランド	1.41%	1.65%	-0.24%
債券	42.80%	50.00%	-7.20%
米ドル圏	6.69%	10.89%	-4.20%
欧州(除く英国)	18.05%	21.92%	-3.87%
英国	3.69%	2.85%	0.84%
日本	14.37%	14.34%	0.03%
現預金	5.19%	0.00%	5.19%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

■ 運用コメント

市場概況

世界の株式市場では米国のダウ平均が10%下落するなど、再び大幅な下落に見舞われました。原油価格が月末には1バレル140ドルを越えるなど、商品市況の高騰が個人消費や企業の設備投資などに影響を与えるとの懸念が強まりました。経済指標では米国雇用統計で失業率が5.5%と約4年ぶりの水準に上昇したことが注目されました。また、大手証券・銀行の信用格付けが引き下げられるなど、金融機関の評価損拡大や業績動向にも市場の注目が集まりました。こうした中、債券相場は中央銀行が物価安定に重点を置いた金融政策にシフトするという見方から下落して始まったものの、中旬からは株式相場の動向を反映し反発に転じました。為替市場では米国から相次いだドル高発言を受けて米ドルが対円で徐々に値を戻し、他の通貨も概ね対円で上昇しました。

運用概況

6月のファンドのパフォーマンスは基準価額ベースで前月末比約-3.4%となりました。日本株式と外国株式の保有はマイナスに寄与しましたが、日本債券と外国債券の保有はプラスに寄与しました。ドル、ユーロなど主要通貨が対円で上昇したことから、外貨の保有もプラスに寄与しました。

運用方針

原油や食料品価格の上昇は実質所得を目減りさせることから、今後の世界経済はしばらく軟調局面を余儀なくされる可能性が高いと見られます。欧米の各国中央銀行もインフレ懸念が収まらない限りは今後1年の間に政策金利を引上げると予想されます。しかしこうしたことから世界的に景気減速感が強まればエネルギー需要は低下が予想され、コモディティ価格全般についても落ち着くことが予想されず。原油高の大きな要因の一つであるドルの下落についても、少なくとも米国当局は歯止めをかけることを狙っており、主要各国も協調すると見られます。こうしたことから、今後徐々にインフレ懸念は後退してゆくと思われれます。一方で、新興国の小売上など内需は予想以上に堅調を維持しています。グローバル経済全体としては大幅な落ち込みは回避される可能性が高いと見られます。株式相場は過去の平均と比較して割安となっており、投資妙味の大い水準に置かれています。ポートフォリオではグローバル株式を小幅オーバーウェイト、債券を小幅アンダーウェイトに維持する方針です。為替については米ドル小幅アンダーウェイトを維持する計画です。ユーロ及び豪ドルなど高金利通貨については強気見通しを維持しています。

※当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

※その他、次ページの「ご注意いただきたい事項」等を必ずご参照ください。

当資料はアクサ フィナンシャル生命が新変額個人年金保険「スイス年金」の特別勘定について運用状況などを報告する資料です

ご注意いただきたい事項

▲ 投資リスクについて

この保険の積立期間(運用期間)中の運用は特別勘定で行われます。特別勘定資産の運用実績に基づいて死亡給付金額、年金額および解約払戻金額等が変動(増減)します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあり、運用実績によってはお受け取りになる年金額や解約払戻金額の合計額が一時払保険料を下回ることがあります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。

▲ 元本欠損が生じる場合があります

解約の時期、被保険者の契約年齢等の諸条件により、ご契約者等が受け取る金額の合計額が、お払込保険料の合計額を下回る場合もあります。

保険会社の業務又は財産の状況の変化により、年金額、給付金額、解約払戻金額等が削減されることがあります。

▲ 諸費用について

契約初期費	一時払保険料に対して 5% を特別勘定繰入前に控除します。
保険関係費	特別勘定の資産総額に対して (年率0.75%+運用実績に応じた費用(※)) /365日を毎日控除します。 ※運用実績に応じた費用:運用実績を毎日判定し、実績が 年率1.5%を超過 した場合のみ、 超過分1%あたり0.1%(上限1.25%) 控除します。
年金管理費	年金支払開始日以後、支払年金額の 1% を年金支払日に控除します。
資産運用関係費	グローバルマーケット型 年率0.714%程度

資産運用関係費は将来変更されることがあります。

その他お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

その他ご留意いただきたい事項

- 当資料は、特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 新変額個人年金保険「スイス年金」は、生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有されている訳ではありません。
- 新変額個人年金には複数の特別勘定グループが設定されており、「スイス年金」には「特別勘定グループ(TS型)」が設定されています。保険料繰り入れおよび積立金の移転は「特別勘定グループ(TS型)」に属する特別勘定に限定されます。「特別勘定グループ(TS型)」以外の特別勘定グループに属する特別勘定への保険料の繰り入れおよび積立金の移転はできません。
- 特別勘定および特別勘定の主な運用対象となる投資信託の内容が変更されることがあります。
- 特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用等を特別勘定資産から控除していることなどによるものです。
- ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

ご検討に際しては、「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」をご契約前に十分にお読みいただき、投資リスクや負担いただく諸費用等の内容についてご確認・ご了解ください。また「商品ガイドブック」、「ご契約のしおり-約款」、「特別勘定のしおり」等をあわせてご覧のうえ、お申込みいただきますようお願いいたします。詳細につきましては変額保険販売資格を持つ生命保険募集人にご相談ください。

[募集代理店]

 **東京スター銀行** 株式会社 東京スター銀行

〒107-8480 東京都港区赤坂1-6-16

0120-330-655

(平日9:00~21:00 土日祝9:00~17:00 年末・年始を除く)

[引受保険会社]

 **アクサ フィナンシャル生命保険株式会社**

〒160-8335 新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト10F

TEL 03-6911-9100 FAX 03-6911-9260

<http://www.axa-financial.co.jp>

AFL-2008-263-20080421(0421)/FR